

## 平成29年5月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 平成29年5月24日(水) 3時15分～5時45分
2. 開催場所 日野町役場202会議室
3. 出席委員 今宿綾子教育長、石岡孝浩教育長職務代理者、  
西村吉弘委員、山田めぐみ委員、高橋政宏委員
4. 出席事務局員  
教育次長 : 高橋 正一  
学校教育課 : 参事 野瀬 薫 参事 正木 博之  
生涯学習課 : 課長 日永 伊久男  
図書館 : 館長 高浪 郁子  
子ども支援課 : 課長 宇田 達夫

今宿 教育長	<p>それでは、ただ今から、日野町教育委員会定例会を開会いたします。 議事日程に基づき進行します。 初めに主な事業につきまして報告をさせていただきます。</p> <p>5月2日・3日は、日野祭の宵山と本祭でございました。姉妹都市の松阪市・会津若松市の他に、ドイツのアイシュ市からゴッペルトさんという方の訪問を受けました。この方は、ブルーメの丘が20年前に開園されたときに、ドイツと文化産業交流都市提携を結ばれたというご縁があって、しばらく何も交流がなかったのですけれども、このたび日野町を訪問してくださいましたということでした。</p> <p>3日には文化庁の方がお二人、日野祭が国の指定を受ける計画をしている中、プライベートで立ち寄りいただきました。地域住民の盛り上がりを感じるとの感想でした。</p> <p>8日は、子育て教育相談センターの職員と教育委員会の職員との懇談をいたしました。特に子どもたちの発達面での課題や、不登校・情緒不安などの対応等について意見交換をしました。</p> <p>臨床心理士さんは他市や他府県から来てくださる方がいらっしゃるの、日野町との違いを伺っていますと、日野町では就学指導が手厚く行われていて、学校にしっかりつながられているということをお聞かせいただき、改めて日々の丁寧なかかわりについて、よい面があるのだと感じました。</p> <p>また様々な症状について、対処療法だけではなく、日頃から安心して生活できる環境等を心がけるということの重要性についてご意見をいただき、そうした面でも考えていかなければならないと思っております。</p> <p>9日は、地域・学校協働活動推進支援事業の立ち上げの会を開きました。各学校の代表の方、地域コーディネーターの方々にお集まりいただき、今後の方向性について話し合いをしました。名前を「ふるさと絆事業」と名づけ、それぞれ「わたむきっ子」「なんぴっ子」「ひのっ子」「さくらっ子」「ひっさっ子」という愛称で支援事業また支援員さんと呼ぶことといたしました。それぞれ意欲的に取り組みを始めていただいております。</p> <p>また10日には、滋賀県の教科書採択審議会に出席させていただきました。今年度、特別支援学校の使用図書を採択し、委員として出席いたしま</p>
--------	--



今宿教育長	<p>ただいまの経過報告につきまして、ご質問等ございましたら、お出しただきたいと思います。</p>
西村委員	<p>大きく2つございます。1つは、地域とともにある学校ということで、地域学校協働活動推進事業というものがスタートして、私もこれについては期待するところが大きくございます。そのガイドライン等拝見していますが、ここには「推進員の委嘱」というような用語が使われているのですが、ここで言う「推進員」というのは、学校ごとに選出されるコーディネーターの方を指すということになるのでしょうか。これが質問の1つです。</p> <p>もう1つは、今の段階でどうということはないのですが、できましたらコーディネーターとしてお選びいただいた方がどなたかということをお教えいただければありがたいです。これが2つ目の質問でございます。</p> <p>もう1つは、図書館についてでございますが、全国的なニュースにもなりましたように、東海・北陸をはじめとして各県で、学校史とか記念誌の切り取りがあったようでございます。滋賀県ではなしという報告であったと聞いておりますので、無くてよかったと思っております。この辺でいろいろご苦労いただき調査いただいたことについて少しお聞きしたいのと、もう1つ図書館のことについてですが、マイナンバーカードです。</p> <p>以前に一度、横山委員さんがご質問になられたかという記憶があるのですが、この夏から図書館の貸出についてもマイナンバーカードが利用できるような方向で総務省がいろいろ準備をしているということは、今年初めぐらいの新聞のニュースに出ておりました。このあたりについて何か動きがあるのかどうかということをお聞きしたいと思います。</p> <p>私の個人的な意見になりますが、マイナンバーカードはもともと税と社会保障ということでスタートした制度でございますので、あまりにも範囲が広まっていくということについては、いささか懸念を持つところがございます。ただ、いろいろなところでいろいろな形でのマイナンバーカードの利用が広まっていく方向で検討されているというのがニュースで出ておりますので、少し気になりますので、図書館としても何かお考えがあるのかということをお尋ねしたい。以上でございます。</p>
野瀬参事	<p>おかげさまで持ちまして説明会をさせていただき、スタートさせていただいたところです。ご質問にありました協議会ですけれども、まだ発足はしておりません。ただ、規約上、今考えておりますのは、校長会代表、そして各校の教頭、そして「ふるさと絆支援員」と言いますか、各校の支援員さん、そして学識経験者という形で、10数名を委任させていただきたいと考えております。</p> <p>そしてまたもう1つの協議会のふるさと絆の支援員さんについては、日野小学校は野崎様、南比は坂田様、必佐は岡田様、西大路は山川様、桜谷は奥村様ということで、フルネームの資料はまた次回にご用意させていただきますが、適任の方にお引き受けいただき、スタートを切ったということ</p>

<p>高浪館長</p>	<p>ころでございます。</p> <p>推進員とコーディネーターは別でして、推進をするための、日野町のもとに協議会を持ちます。その協議会が、今言ったように校長代表と教頭、そして支援員等で構成し、その下に各学区の推進委員会（協議会）を持つというふうになっております。</p> <p>各校の協議会につきまして、今のところは学校評議員様に兼ねていただき、その方向性を定めていきます。学校評議委員会の中では、学校の活動について校長が説明しご意見をいただくという過程がありますので、その会を通じまして、地域と学校がどのように連携していったらいいのかという点にも焦点を当てていただいてご意見をいただくという形でスタートをさせていただきよう、今お願いさせていただいているところです。</p> <p>まず学校史の切り取り問題ですけれども、最初は東海地区と福井辺りだけが問題になっていたのですが、その後調査が進むに従って、相当あちこち全国各地で切り取りがあったという報告がありました。</p> <p>報道の影響から模倣する人があって、さらに切り取られたものなのか、それとも以前から切り取られていたものなのかがはっきりしませんが、利用する人を信じて開架に出していたものが、そういう心無い人によって、写真やもしかしたら住所があるページがあったかも知れないのですけれども、切り取られていたということで、あまり普通貸し出しなどにはならないものですから、本が動けば、動くたびに何か問題はないかというチェックをしておりますが、貸出しにならないとそういうチェックも行き届かないということで、気づかれずに今日の調査で明らかになったというところがあるのかと考えております。</p> <p>いずれにしろ、普段あまり貸し出しがない分野のことで切り取りがあったということなので、日野町立図書館としても、日野高校の百年史が一番切り取られたものに近いかということで、気をつけて見ております。</p> <p>個人情報なども載っているような学校史につきましては、書庫の中に入れてありますので、そちらの方は安全かと思うのですが、出し入れの時に一応大事な資料につきましては、利用者の方のカードをお借りしてご覧いただくようなこともしておりますので、そちらの方は大丈夫かと思うのですが、出しているものについてはこれからも気をつけて見ていきたいと思っています。</p> <p>それから、マイナンバーカードを図書館利用カードとして使用する例ですけれども、総務省がだいぶ進めているということで、ぼちぼちと導入している自治体もあると聞いています。県内では愛荘町が住基カードの時から図書館カードとして使っているという例があります。県内ではそれ以外のところは、読書の自由といろいろな情報が結びつけられることについて、図書館員もすごく心配ですし、利用される方も不審に思われたり心配に思われるといけないということで、そういった例はありませんし、これからも推進していくという話はほとんどないです。</p>
-------------	--

西村委員	<p>日野町としても、読書の自由を妨げてはいけないということで、それを導入する動きは今のところ取っておりません。ということで、よろしいでしょうか。</p> <p>どうもありがとうございました。重ねて、今の地域とともに協働活動推進事業は、学校教育課の施策として方針の中にうたっていただいておりますので、そのように理解しておりますが、この事業自体は文科省というか、上からの流れからいきますと生涯学習課の所管で、予算上も生涯学習課の担当になっていると思うのですが、予算上というか形式的には生涯学習課の担当ということですが、実際動かしていかれるのは学校教育課になるのですか。それとも、何か特別に両方がいろいろされるのですか。</p>
野瀬参事	<p>私が答えるのか、日永課長に答えていただくのがいいのかわかりませんが、連携してという形で、生涯学習課の方では寺本主査が窓口になっていただき、前回の説明会もしていただいております。</p> <p>私の方は、学校との関係があるということで、つなぎ役というか、学校指導という面で参加させていただいて、一緒にやらせていただくという形を取らせていただいております。</p>
日永課長	<p>予算は生涯学習課になっておりますけれども、学校で本部をつくっていただいて、そちらへ委託するという形で事業をしていただくということになっておりますので、今言われましたように、学校教育課と生涯学習課が連携しながらという形を考えております。</p>
高橋委員	<p>私は、ふるさと絆事業に大変関心を持っておりますし、これが日野の教育のコアになるものに、今後なっていくかと思っております。それぞれの学校の活動だけで終わらずに、町全体あるいは高校もこれから入るのかどうかわかりませんが、そういう意味で日野の教育を高めるための1つの事業だと思っておりますけれども、できましたら、我々にも構造図みたいなものをお願いしたいと思います。</p>
野瀬参事	<p>構造図につきましては、次回のこの会議の時にご用意させていただきます。また、先ほどありましたように、ふるさと絆支援員さまのお名前も一覧表にしてご用意させていただきますので、ご覧ください。よろしく願いいたします。</p>
日永課長	<p>同和問題につきまして、日野町におきましては、同和の関係につきましてはこれまでの経過もあって、正しい方向を向いているという信念のもとに進めています。最近では人推協の活動につきましては、同和問題だけでなくいろいろな人権について広くとらえるということで、一昨年には「字別懇談会をすすめるために」という冊子をつくりまして、それぞれの地域</p>

	<p>にお配りさせていただきまして、いろいろな、広い意味での人権について皆さんに広く話し合いをしていただきながら、地域でその辺のことも解決していただくということで進めておるところでございます。</p>
高橋委員	<p>今おっしゃったのですが、また掘り起こしているというふうに私はあれを見てはいないのです。掘り起こすというと、全く逆向きになりますよね。もう1つの方は、やはりもともと同和教育は、我々が若い時はど真剣にやっていたわけですが、今はそれが人権教育になってますね。</p>
野瀬参事	<p>同和加配とは全く性質を異にしますが、児童生徒支援加配というものがあります。</p>
高橋委員	<p>企画振興課からいただいた資料では、いろいろ話し合っただけで足りないところとか、こうしたらいいとか、その時に資料を見ると、結局は20代後半から30代の若者の流出が激しいとか、道路が直ってないとか、産業が来てないとか、求めようにも求められないような課題が事例として話されて、結局、地域住民としてはどうするのかという話につながらない。</p> <p>私自身は、語弊のある言い方かも知れませんが、いろいろ魚屋さんみたいに並んでいると感じました。</p> <p>例えば私の字でいうと、外国籍の方がおられます。日頃から付き合いをしているわけではありませんけれども、その人たちの生活はどうなのか、どう関わっていったらいいのかというような課題について、特に日野町の場合は暮らしの中での人権として、身近なところでしていくという方向ですが、その辺は日野町での大元は、企画振興課になりますか。</p>
高橋次長	<p>現在、人権推進をとりまとめているのは企画振興課です。その教育部門は生涯学習課が所管しています。町の人権施策をとりまとめているのは町長部局でやっています。</p> <p>先ほども生涯学習課長が申しましたが、日野町人権教育推進指針というものを生涯学習課が持っており、基本は、住みやすい地域をつくるというところと人権のかかわりで勉強していきましょうという指針で今やっています。ことさら同和問題とかそういうことは、日野町としてはもう先進とと思っていますので、そこに特化したことはしないというふうに思っています。全国の中でも大変進んでいる町だという思いで、日野町は今、人権推進を進めているという感じだと思います。</p>
高橋委員	<p>わかりました。</p>
石岡委員	<p>高橋委員の話聞いて思い出したのが、日野町の総合戦略の時に、各種団体の方が代表で色々な方が来ておられて、その中で公民館をどうしようという話になって、その中に人権推進協議会の話も出てきて、一緒の話が</p>

	<p>ございました。</p> <p>今たちまち「人権」に対してターゲットにする事柄がないのではないか。何のために人推協を据えているのかというような議論になりました。そこにおられる皆さんはいろいろなことで一緒のような疑問をすべての方が持っておられました。「人権って何をするのか」と。</p> <p>目標とすべきものもないし、憲法の条文に書いているような大層なことを一般の住民が取り扱うのかというと、そんなことは馴染まないし、そういう一緒のような話があったことを思い出しました。</p> <p>各公民館に人推協が設置されております。生涯学習課の担当と言えど、たぶん手が離れておられるだろうと思うのですが、そのあたりの指導に関して、何かございましたらお願いします。</p> <p>各地区に人推協が置かれて、愛称をいろいろつけられて活動されています。地域にも推進員さんを置いて活動に努めていただいております、町としましてもそれぞれの段階で会議を持たせていただいたり、研修を持たせていただいたりということで、人権啓発につきましてはさせてもらっております。</p> <p>高橋委員さん・石岡委員さんが言われましたように、なかなか人権は目に見えない、抽象的な話で、以前は同和の関係が中心だったと思います。日野町は先ほど次長が申しましたように同和の先進的な町ということで、同和以外に人権としましては、国籍の関係であったり、性別の関係であったり、身体的な障がいとか、いろいろ人権というものはたくさんあると思いますので、人権が広い範囲に広がってきていると思います。</p> <p>私個人の思いですけれども、「人権」というのは思いやりと言いますか、それぞれの人の立場なり気持ちになって、どのような気持ちになれるかということが一番大切かと思っております。そのことを地域の方が腹を割って話し合いを持っていただいたりするの、字懇という場になると思います。これまで地域でされている人権の学習会と言いますと、人権のビデオを見たり講演会を聞いたりということが主だったと思うのですが、それではなかなか個人の思いまでは入っていかないので、1つのテーマを、それが人口減少とかいろいろテーマがあるかもわかりませんが、そういうテーマを1つ絞って、それをきっかけに皆さんが気軽に思いを出し合っていて、互いの気持ちを分かり合うことが人権の基本ではないかと思っておりますので、そういう場を持っていただきたいと思っております。</p> <p>今、日永課長がおっしゃったことは筋が通っていると思うのですが、人権推進委員会に今回行かせてもらったのだけれども、全体のトーンとして、何を話し合うのが人権教育につながるのか、なぜ来ているのか、字懇というけども全然進まないという現状があります。人権問題には外国籍とか高齢者とか、いろいろありますよね。だから、そういうところに意識的に目</p>
日永課長	
高橋委員	

西村委員	<p>を向けてもらうことが大切だと思います。</p> <p>確かに日野町は独自路線を行っていると思いますが、これが日野町の皆さんの人権意識を本当に高めているのか疑問を持っています。集まった方々も、あるいは指導する立場の人もそういうことを、突っ込んで言うとそういうふうに言われます。</p> <p>学校における人権教育も同じことが言えるのですけれど、ある意味では目に見える人権教育というものが、特定の分野の学習を子どもに学ばせるとかということも、私個人的には心配をしています。</p> <p>人権教育というよりも人権問題というのは非常に身近なところにあると思ったことがあります。</p> <p>私が所属しております消費生活アドバイザーの団体で、日本消費生活アドバイザーコンサルタント協会の西日本支部の役員を私はしていたのですが、滋賀県が今から6～7年前でしたか、3年計画で消費生活のスペシャリストを養成しようという事業をやるということになって、私どもの団体が手を挙げましたら、おかげさまで受託することができたわけです。場所は立命館大学をお借りしまして、夏休みに市民を集めた講座をやるということになりました。</p> <p>そこで、受講者を募集することになり、新聞広告を出すことになりました。私は、募集要項とともに、応募にあたっては、住所、氏名、性別、電話番号・FAX番号の4項目をお知らせくださいという内容の原稿を作成して、広告代理店を通じて複数の新聞社に持ち込みました。新聞社には、広告の審査委員会があるのですが、その審査で、この原稿がアウトになりました。</p> <p>なぜかという、男女別が必要かということになったのです。消費生活講座の募集をするのになぜ男女別が要るのですかと、幹事の新聞社が私に言ってきたのです。すぐ県の担当課に言ったのですが、県は、どうしても統計上、男女別がほしいのだとおっしゃった。そこで、統計上必要な項目であることを説明したのですが、やはりダメですということになったのです。</p> <p>それを深く考えてみますと、その講座を募集するにあたって男女が必要かということは、性別という部分、それが差別か差別でないかと言ったら人によって見解が違うけれども、個人情報を求めるうえで、本当に欠くことができないほどの必要性があるかどうか、さまざまな角度から、そのことの検討を十分尽くしたかどうかといわれれば、指摘は当たっていたと思いますね。</p> <p>私も今日2つのチラシをいただきまして、こちらの方は性別が要るのですよ。しかし、こちらは要るかどうかというのは検討すべき材料です。</p> <p>人権問題というのは具体的に表れるので、1つひとつをその当事者がそういう角度で見るという心構えというか、そういったものが必要でないかなと私は感じるところでございます。</p>
------	--

<p>今宿教育長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>私も、5月30日の人推連協総会に出席させていただきますが、今話が出ていますように、地区別の懇談会で何を話し合うのかについての研修を進めて行くことの大切さを、その都度しっかりと考えてことが必要だと改めて思いました。</p> <p>「字別懇談会を進めるために」という冊子を、各字に配布していますが、編集委員さんが協議をしていただいた内容であり、身近な地域や生活の中の課題が掘り起こされ、社会的に弱い立場にある人のことを考えようというものです。</p> <p>例えば男女共同参画や、子ども、高齢者、病気の患者、外国籍の方、また服役から社会に戻られた方など、いろいろな方々に焦点を当て、日野町では5つ課題にしぼり、懇談会の手引きを渡ししています。</p> <p>編集会議の中では、自分たちの生活の中にある課題を出し合って、意識を持って考えていくことが必要ではないかという意見がありました。すぐに成果を出すのは難しいかと思いますが、地域のリーダーを育てていくということも大事な観点だと思いますし、そうした方向性をしっかり持ちながら、繰り返しお話をさせていただくことが大事かと思っています。ご意見をいただきまして、ありがとうございます。</p>
<p>西村委員</p>	<p>先ほど私が申し上げて最後を言わなかったのですけれども、県もいろいろ検討したけれども、結局講座の申し込みに男女の別は要らないということになって、応募者からお知らせいただく項目から性別を外して、各新聞社全部掲載をしていただきました。だから、人権問題は、さまざまな場面で、具体的に出てくるのだと思ったわけで発言させていただいたような次第です。</p>
<p>今宿教育長</p>	<p>学校でも名簿を男女に分けないで作りますが、性の区別が必要な健康診断では男女を分けたりとか、また採用試験などで聞くべきでないこともあります。我々の子どもの時の個人調書には、親の学歴なども書くようなところがありましたが、きちんとした人権意識が育っていく中で、必要ではない、あるべきではない、というようなことが選択できるような視点が磨かれてきました。</p> <p>町民の皆さんが、それぞれの人権を大事にしたかかわりができていくという町をつくっていくというのが目的になると思います。</p> <p>進めさせていただいてよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、日程5の議事に入ります。</p> <p>「議第1号 教育財産の取得について」を議第とします。事務局から提案をお願いします。</p>
<p>高橋次長</p>	<p>(提案説明)</p>

今宿教育長	提案説明に対してご質問などございませんか。
高橋委員	今般、財産の取得というタイトルになっているのですが、指名競争入札によって、これまでのメーカーから変わることはあり得るのですか。
高橋次長	これまで学校にあったのは、据置型（デスクトップ）のパソコンがありました。コンピュータ教室に児童が集まって学習するというのが整備されていましたが、平成27年に日野小学校と南比都佐小学校は据え置きを止めて、教室へ持っていけるタブレット型パソコンを使おうということで入れましたので、今回はそれと全く同じものをあと3校に入れて更新するという事です。
高橋委員	学校で日常使っていても、メーカーが変わるとものすごくしんどい部分があるので、そういうことも含まれるのかなと思ってお尋ねしました。
高橋次長	機械のハードについては、どこのメーカーでも同等品は可能という仕様書ということで、こういうものを使いたいという提案を受けて、町が承認すれば入札してくださいという仕様書にしていました。 日野と南比都佐については、ハードについては東芝の機械が入っています。今回3校についてはNECの機械が入ります。パソコンの機能はほとんど変わりませんので、多少メーカーが変わってもソフトの問題ですので、日野小・南比都佐小と同じ学習用ソフトを使うということにしています。
高橋委員	わかりました。
今宿教育長	ありがとうございます。 他に質問やご意見はありませんか。 他に質問やご意見も無いようですので、承認することとしてよろしいか。  ⇒（異議なし）
今宿教育長	それでは、「議第1号 財産の取得について」を承認することとします。 次に、「議第2号 日野町一般会計補正予算について」を議第とします。 事務局から提案説明をお願いします。
日永課長	（提案説明）
今宿教育長	提案説明に対してご質問などございませんか。
高橋委員	私は土山で勤務していたことがあります。土山はご存じのようにお茶が

	<p>盛んですけども、お茶が身近にあり過ぎて、身近にあればあるほど意識がなくなるということから、改めて土山のお茶の良さをみんなが知ろうということで、中学校で体験活動をしたような記憶があります。</p> <p>そういう観点で言うと、今ここで西大路地区のまちづくりの整備計画の一環としてお茶の話をされましたが、そういう良さなどは、大人が再確認することももちろんすごく意義があると思いますが、ここにいる子どもたち、特に子どもの発達などでいうと中学生あたりがストーンと結構落ちるのではないかと思います。</p> <p>日野の良さを自慢するというか、そういうものを子どもたちが持つということが、これからの日野町を支えていく大きな力にもなろうかと思えますし、そういうところにも少し視点を置いて事業計画をぜひともしていただけると嬉しいと思っております。よろしくお願いします。</p>
石岡委員	<p>私も大変良いお話だと思います。私が前から会議のたびに言わせてもらっている公民館へのテコ入れ、再構築といったことが、これによりなされているわけで、ハードの整備、ソフトの部分で北山茶という、日野椀を絡めてされていますし、ぜひともほかの公民館においても、行政がちょっと手を貸しテコ入れし、地域の特産なり名物なり、住民の力を結集できるようないろいろなソフト・アイテムを公民館に投げかけるというのを、公民館の再生を命題とされているのだったら、ぜひとも、すべてのところに働きかけてやってもらいたいと思います。よろしくお願いします。</p>
日永課長	<p>ありがとうございます。今言っていたことは、ぜひほかの公民館に広げたいと思います。ただ、やはり中心となるのは地域の方が熱意を持って取り組んでいただくというのが一番肝心だと思いますので、そういう雰囲気づくりはまた皆さん方のご協力がいただけたらと思っています。</p>
山田委員	<p>公民館の駐車場は、幼稚園の送迎の方も結構止めていらっしゃるのです。駐車場がなくなると、また違うところに止められると思うので、そちらの整備もできたらお願いしたいです。</p> <p>今は桜並木くらいで小学校との間くらいになると思うのですが、あそこも結構ガタガタで、木の根っこが出てきているので、幼児さんがコケたりするので、もしそうなればまたちょっと何かあったらなと思います。</p> <p>小学校とかでもいいのですが、また指導していただけたらと思います。</p>
高橋次長	<p>学校でも幼稚園でも、送迎のための駐車場というのは、どこも少ない状況になっています。送迎とか何かの大会のためにもいけるようなスペースを取ろうと思うと、相当なスペースになるので、そこはもう地域ごとに、周辺の空き地や道路を利用してもらったり、そういうことで対応してもらっているというのが実情です。防災とかそういう観点からいうとやっぱりあった方が良いという気もしますので、そういうことは考えることも必要</p>

<p>今宿教育長</p>	<p>だと感じています。</p> <p>西大路公民館の前面のところがなくなるので、小学校の桜並木のところができるかどうか、今は具体的に申し上げられませんが、あった方がよいというご意見は、そのとおりだと思います。</p> <p>この予算書については、今週の金曜日26日の時に初めて議会運営委員会に出しますので、それまでは公表していない資料だということで、ご理解いただきたいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか。貴重なご意見をありがとうございました。他に質問やご意見も無いようですので、承認することとしてよろしいか。</p> <p>⇒（異議なし）</p>
<p>今宿教育長</p>	<p>それでは、「議第2号 日野町一般会計補正予算について」を承認することとします。</p> <p>それでは、議事を終了し、日程6の今後の予定等について、学校教育課から順次説明をお願いします。</p>
<p>野瀬参事 宇田課長 日永課長 高浪館長</p>	<p>（各課説明）</p>
<p>今宿教育長</p>	<p>以上でございます。今後の予定の説明を終わりましたが、ご質問、ご意見がございましたら、お出しいただきたいと思います。</p>
<p>西村委員</p>	<p>生涯学習課の明日の予定で、県の文化財予算ヒアリング、30年度に向けての要求というか、町として大筋ではどの辺のところを予定しておられるのかだけ、簡単に結構でございますので。</p>
<p>日永課長</p>	<p>これは毎年、次年度に向けて5月の今頃の時期にあります。まず大きな事業としましては、中山の光明院にご本尊で重要文化財の仏像があるのですけれども、昨年度、同じ中山で金剛定寺の建物を改修させていただきましたが、それと同じ要領で、重要文化財の仏像を保存する本堂ということで、重要文化財の収蔵施設と見なして、補助金をいただいて本堂を改修するという計画です。地元から昨年要望を頂戴しておりまして、県へ要望したのですが、30年度に何とかしていただけるようにということで要求させていただいたのが1点です。</p> <p>それから、日野の曳山に関しまして、できてからかなり年数が経つ曳山ばかりですので、曳山の傷みがひどいということです。昨年、曳山の囃子</p>

	<p>の共演会があったりということで、将来的には日野祭を国の重要文化財に指定していきたいという思いで、地域の方々も熱心に取り組んでいただいておりますので、そういう方向性をにらみながら取り組んでいきたいですが、すぐにはなかなか指定にはならないと思います。かと言って曳山の傷みが待ってくれるわけではありませんので、県の予算を何とかいただけないかということで要求をさせていただき予定をしております。日野町としては初めてになりますので、今後、継続的に予算がいただけるとありがたいと思っております。</p> <p>それと、国の指定や、県の指定になっています建造物、日野町内で言いますと、国の指定ですと松尾の正明寺の本堂であったり、県指定で言いますと、同じく正明寺の経堂、先日竣工しました信楽院の本堂、そういうところで建物の普通の管理としまして自動火災報知機を設置したり避雷針を立てたり、あるいは消火施設を整備したりということがされているわけですが、それを毎年専門の業者さんに点検をしていただかなければいけないということで、その点検費用を補助事業として毎年同じ額になりますが、要求させていただいております。</p> <p>それともう1つ、埋蔵文化財の関係で、町内でいろいろな開発事業に伴って、地下に遺跡があるかどうか試掘調査等をするための費用ということで補助金をいただいておりますが、それも毎年の継続でございますが、同じように要求をしております。</p> <p>正明寺本堂は、桧皮葺きで30年程前に葺替えをしましたが、経年劣化で再び葺替えが必要となり、その補助事業も要求しています。</p>
西村委員	どうもありがとうございます。
今宿教育長	<p>ほか、ご質問ございませんでしょうか。</p> <p>無いようですので、日程7のその他に移ります。担当から、順次説明させていただきます。</p>
高橋次長	《総合教育会議について》
今宿教育長	総合教育会議について、委員の皆さんから、何かございましたらお願いします。自由に意見交換をしていただければと思います。
高橋委員	地方教育行政法が変わりましたので、教育委員の一人としても提案などはできるのですね。
今宿教育長	傍聴も可であるというのが大前提になりますし、そうした中でいろいろな方も来てくださるということがありましたので、事前に総合教育会議の持ち方と、どんな内容を誰が発言するかということも決めていたのですけれども、段々回数を重ねるごとに、話題提供と言ったら何ですけれども、

高橋委員	<p>29年度の教育方針について説明させていただき、町長からもご意見をいただき、そしてまた委員さんからもご意見をいただくというような感じで、一昨年の後半くらいからはそんな形で進めさせていただきました。</p> <p>それにどういってお方が参加されるのか。</p>
今宿教育長	<p>進行そのものは企画振興課が主催、司会は企画振興課の課長が進めていくのですけれども、私は提案というか、話をさせていただくという形で進めさせていただきました。</p>
西村委員	<p>あの趣旨からいきますと、調整というのと協議というのと、2つ機能としてあるということのようですねけれども、調整ということになってまいりますと、町長部局と教育委員会との組織と組織の間で一定の結論を得れば、双方が拘束されるようになるのではないかと理解しています。</p> <p>私の感じでは最初もう少し堅苦しく思っていたのですけれども、実態は協議というような感じではないかと思います。</p> <p>中身は、教育委員会として、新たな提案をするということではなくて、既定の一定の方針のもとで進められている中での状況の説明なり現状報告というのが、教育委員会側としては出てきて、それに対して町長がご意見をおっしゃったり、また、委員がそれぞれが発言するといった形で進んでいくような私はイメージを持っております。</p>
高橋委員	<p>私の解釈の仕方とすれば、教育委員会と教育委員会事務局とは明確に違うと考えていますので、理屈はそうでしょう。先ほど提案と言いましたけれども、一教育委員が話題提供をして、それについてそれぞれの教育委員の方、教育長ならびに教育委員会事務局の方々に相互意見交換をすると。私がしゃべるとすれば教育を高めるための内容になるかと思いますが、そういうことを言っているのです。</p> <p>そういうことは許されるのか、許されないのか、法的には許されていると私は読んでいるのですけれど。</p>
今宿教育長	<p>一教育委員さんとしてご意見を出していただき、教育の目指している方向性や、またそれにかかわっての予算など、町長に直接聞いていただける会というようなスタンスで臨ませてもらっているのです。</p> <p>ですから、ご意見をいただくということについては、お一人おひとりの委員さんのお言葉で言っていただけたらと思います。</p> <p>これまでも懇談会や懇話会のような雰囲気ですら進んで、いろいろな課題や思っていたこととか、予算についてお話しをしていただいたかと思います。</p> <p>基本的には、藤澤町長は教育内容については介入すべきでなく、むしろ教育委員会の独自性や継続性を尊重するという方向で、この会を主催して</p>

石岡委員	<p>いただいていると思います。</p> <p>その中で、フリートークとか、言いつばなしの協議みたいにしてしまうと、そのまとまった意見に対して予算を講ずるように考えなさいという項目は生きていたはずだと思うのですが、ただ、言いつばなしのようなことに予算を考えるというのにはあり得ないので、それだったらどういう手段を取って、西村さんが言われる調整を図るかという、そういう部分はあると思います。予算を講じてもらうという手段としては。</p>
今宿教育長	<p>総合教育会議については、初年度は、どのような方向で持っていくのかということについては、我々の教育委員会の中で協議していったと思いますので、目指す教育がより具現化できるような方向性を協議して、戦略的に町長に聞いていただくという効果がありません。基本はそういうような思いで団結できたら心強いです。</p>
今宿教育長	<p>では、次に《日野小学校給食室棟新築工事について》お願いします。</p>
高橋次長	<p>日野小学校給食室棟新築工事について（教育次長） ⇒6月8日（木）臨時会を開催</p> <p>続いて《5月1日付園児児童生徒数》と《学校経営管理計画》についてお願いします。</p>
野瀬参事	<p>5月1日付園児児童生徒数（野瀬参事） 学校経営管理計画（野瀬参事）</p>
今宿教育長	<p>他に連絡事項があればお願いします。 無いようですので、以上を持ちまして、5月定例会を終了します。 お疲れ様でした。</p>